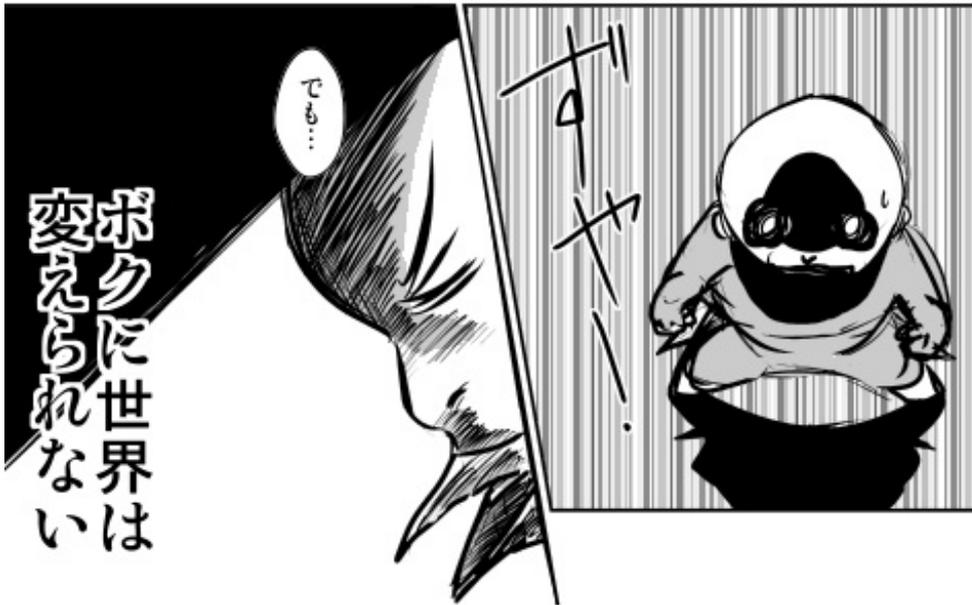
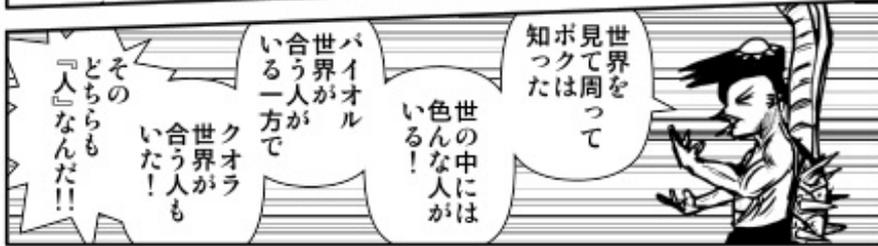




OCEAN MANABU









ジャミノガで
ボクは無力
だと知った

世界を
変えるには
圧倒的な
力での
ゴリ押しが
要る



ボクには
それが
無いし...

それに...



今の
ボクには

失いたくない
モノが
出来すぎた









自分が
大事…？

身の丈に
あつた
貢献…？

アホかお前
今さら…



まあ…

それは
いい

それは
いいとして…

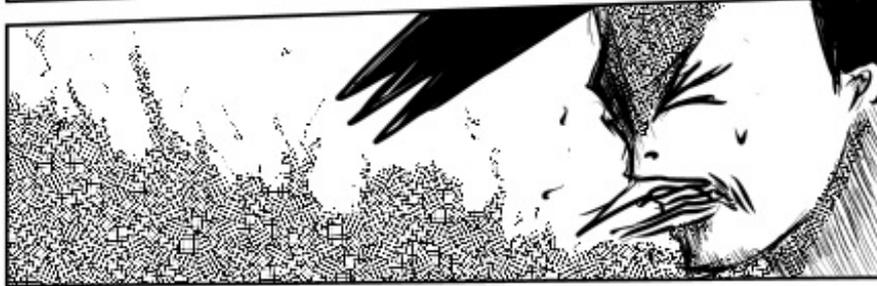
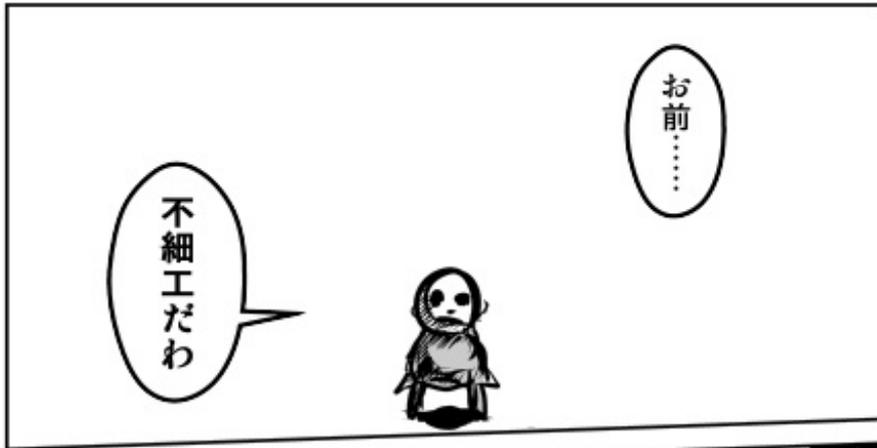


なんだ
その得意げな
語り口…

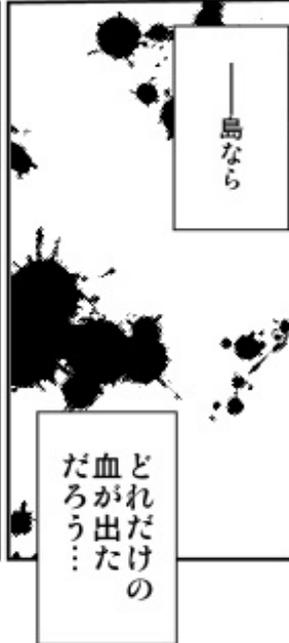
夢を
諦めた
理由
だけは

雄弁に
語るな!!!





関係ない



前を向いて
んのか？



お前の
矢印は今



バイオルの
打倒!!

オレの
目的は

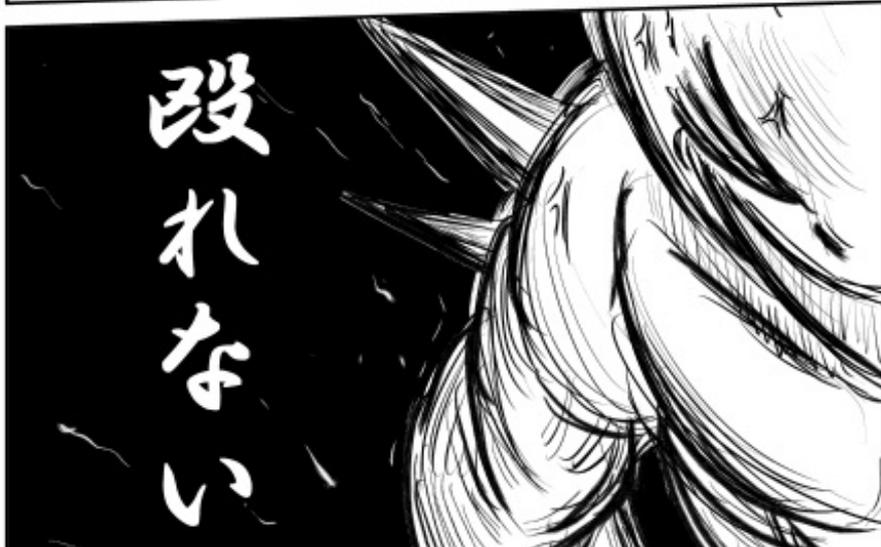


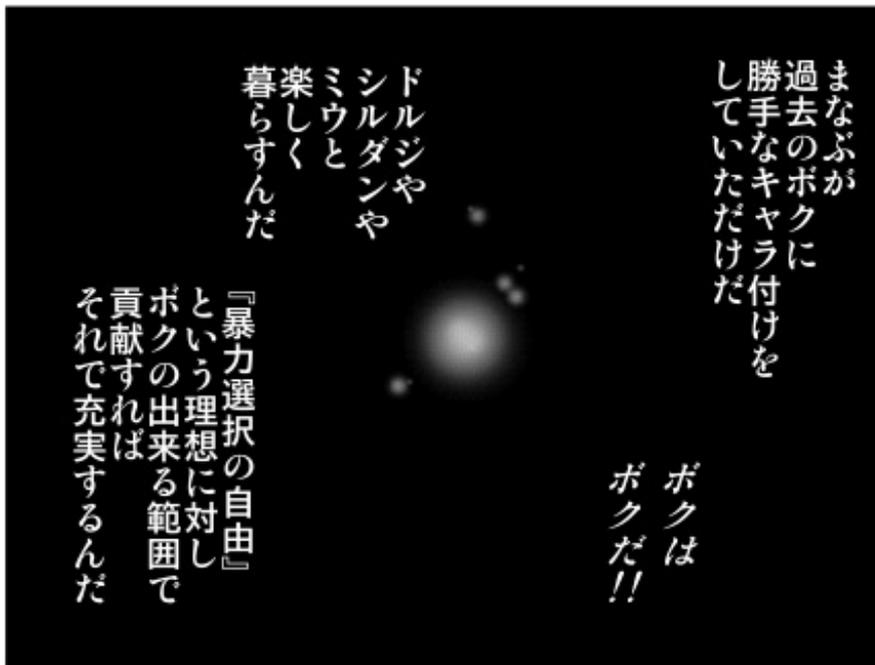
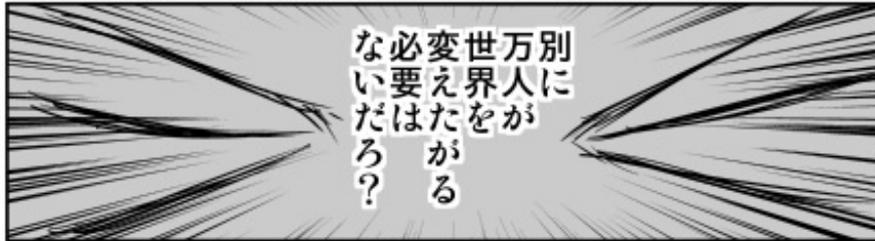
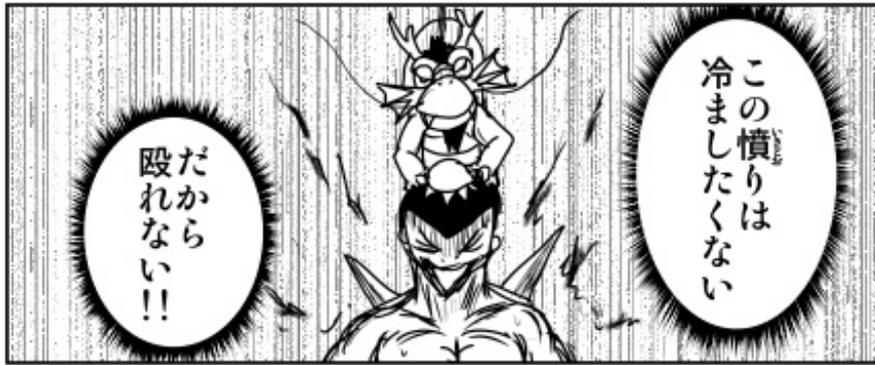
鳥に
戻って
大丈夫か？

今は
ただの
一般人だ

あの時の
お前には
信念が
感じられた









分から
ない!!

ボクは
結論を
得た訳
じゃな
かった!!



矢印が
向いて
ないか
!!

...まなぶ

再び
感謝
する

自分
は



そして
次に
会ったとき
聞いてくれ……

ボクの
結論を

何者なのか

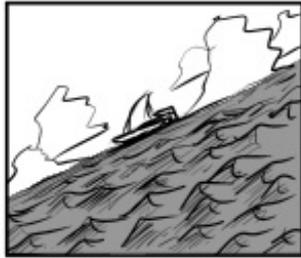
ウイルコンで

望む
ところだ



この
大邂逅は

のち
後の二者に
大きな影響を
与えた!!



オレって
感謝される率
高くね?

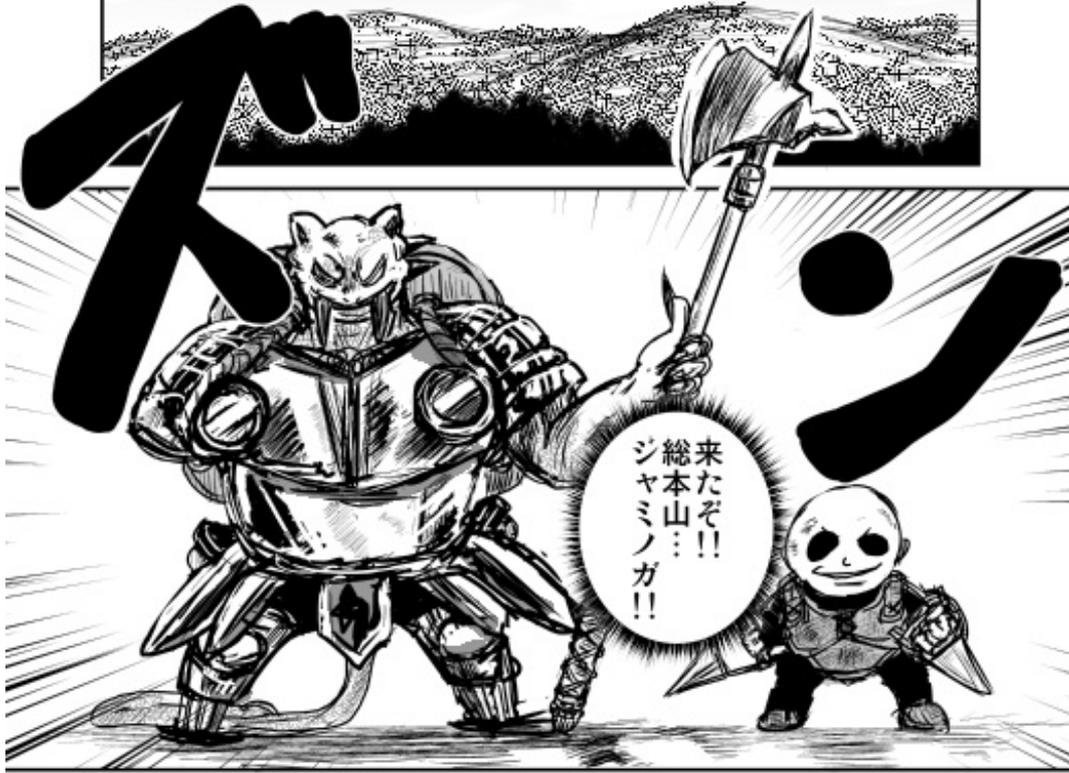
…てか



スネひよんは
ラブナリジ島へ

まなぶは
ジャミノガへ!!

やっと...



来たぞ!!
総本山!!
ジャミノガ!!



わっはっは!!

装備とかも
オレの金だし!



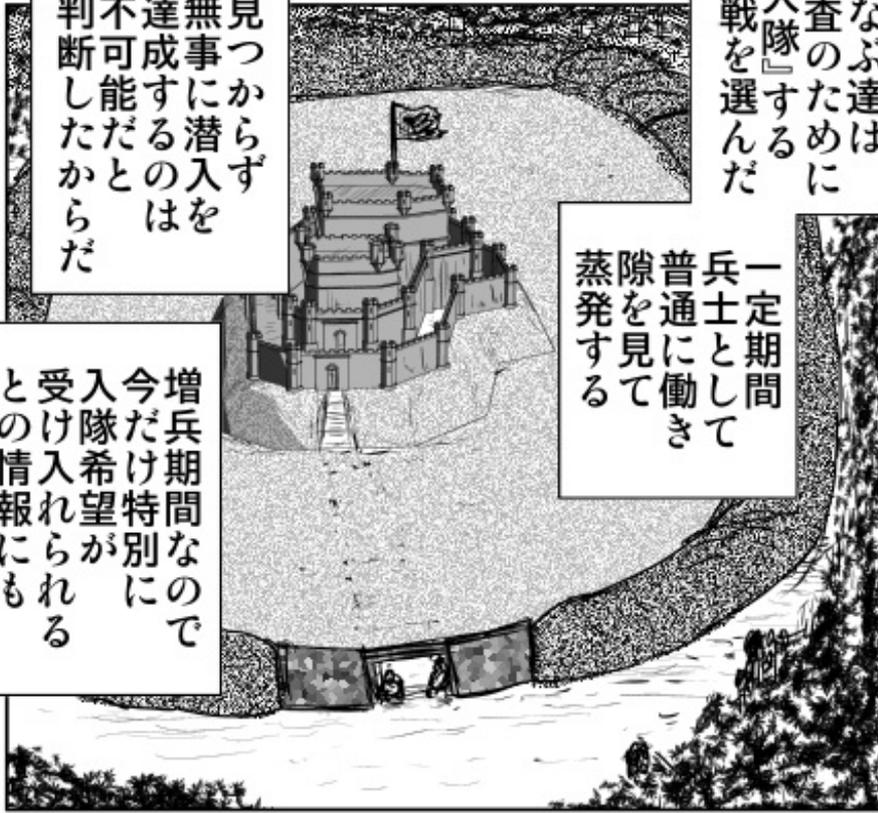
獣人が鉄道で
乗車拒否
されたから
ホント時間
かかった!!
わはは!!

まなぶ達は
調査のために
『入隊』する
作戦を選んだ

見つからず
無事に潜入を
達成するのは
不可能だと
判断したからだ

一定期間
兵士として
普通に働き
隙を見て
蒸発する

増兵期間なので
今だけ特別に
入隊希望が
受け入れられる
との情報も
後押しされた



しかし
案外…

パイオル王が
本物の
パイオル神
って可能性は
低くない
んだよな！

何でだ？

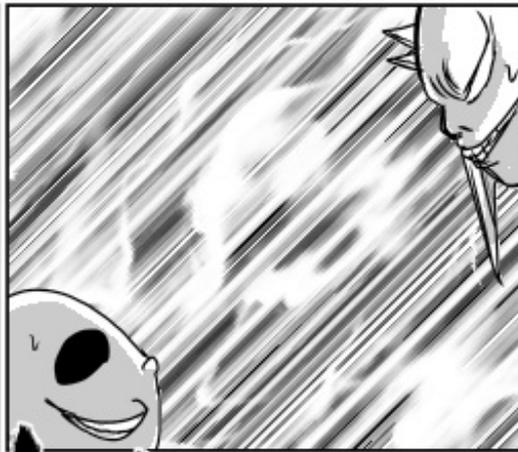


オレらを
苦しませてる
この完璧な
情報統制さ



『全知』対策
かもしれない





順調に国力を蓄える
ジヤミノガ国にも
困り事がない
訳ではなかった

その最たるものが
『魔術師』と呼ばれる
何者かである

魔法の様な
力を使っている
と噂されるが
その素性は
全て謎



『有り得ないほど
甚大な規模の被害』
という結果だけが
確かに存在している

様々な拠点
が狙われる割に
大本命の城だけは
パイオル城だけは
狙ってこない

堅牢すぎる
のだろうか？

後^よって
パイオル王は
エサを与えた…



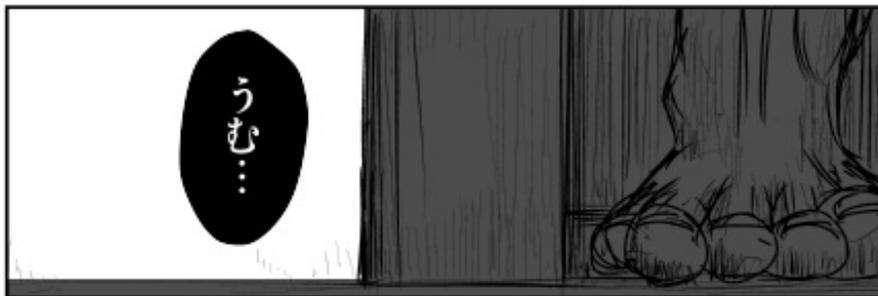


城内に入る
絶好の機会を…!!



新たに
2名
連れて
きました!

バイオル様



うむ…

魔術師
なら殺す





■62話 完■

面白いと思ったら是非投票してください！
作者のモチベーションに直結します！！



作者HP（オーシャンまなぶ全話公開中）

<http://t-taks.com/>